

地域と町のパイプ役が集まり町へ熱心に質疑応答

平成六年度自治会長会議開かれる

今年も平成六年度自治会長会議が農村環境改善センターで開かれました。これは、地域と町のパイプ役となる自治会長から、町の今年度の事業などの理解と協力をいたたくため、毎年開かれるものです。

四月十三日(水)、農村環境改善センターで自治会長会議が開かれました。町内の自治会長と、町からは町長はじめ各課(局)署)長が出席。町

側からの平成六年度の事業説明のあと、自治会長からの質疑、要望などがありました。質疑応答の要旨は以下のとおりです。



今年の自治会長会議

山田村中線の排水路について土地改良区が解散したため子供の通学路として拡張するとの事で測量し地元の説明も終わっているが、最近この工事がだめになったと建設課から聞いた。理由はなにか。また、地元 関係者に納得のいくように説明会を開いてほしい。

建設課長 建設課としては、この事について予算がつくように精一杯努力したが、町としては他の行政需要も抱え、財源にも限りがあるため予算がつかなかった。ご理解願いたい。説明会については日時が決まったらお願いしたい。

①下水の蓋が重く、作業の際に支障をきたしている。重鉛引きのグレーチングを使うなど軽量化に取り組んでほしい。(要望) ②本自治会の西側に大きな排水路があるが、ガードレールが一部設置されていないところもあり水が多く流れる時期は、大変危険である。土地改良区にお願いしているが、「少し待ってほしい」との回答だった。出来れば町の一部負担で土地改良区と話しを進めて危険か所を直して

ほしい。(要望) ③県では文書サイズをB5からA4に変えたが、町はどうか。建設課長 ④おっしゃるとおり県は全部A4版の大きさになっている。町としてはすぐには切り替わらないが、おのずとA4サイズになって行くと考えている。

本自治会はふれあいロードの場所にゴミ集積場がありこの工事後は、せつかくきれいに整備されたところへゴミをださなければならぬ。各班では集積場所をきれいに、という事で協力して掃除等を行っているが、収集の時間がまちまちで、遅い場合は午後になってから来ている。せつかくの道路なので早い時間に収集してほしい。保健衛生課長 この件については他の自治会からも要望がだされておられ、今週から八時三十分までに収集するようにしている。

ふれあいロードの工事後の場に入るのは焼却残渣のみで飛散するようなものに入らないが、かさあげ工事をする中で極力飛散しないようにしていきたい。

立仏地区の排水路の一つはいつも悪臭を放っている。なるべく早く改良してほしい。(要望) ①寺地保育園通りの排水路について、だいぶ陥没しており、雪の時期は車がはまっていたようだ。調査して(改良を)検討してほしい。②昨年カーブミラーについて要望したが、町道と私道のT字路のミラーなどは地域負担との回答があった。私道の世帯数が十以上なら、町が助成する方向で検討できないか。町長 現地を見て検討したい。

黒埼町の今音

執筆 宮田栄門

新聞からたどる黒埼の歴史 (二十)

大正時代、大野の女たちは香煎やきな粉などの荷を背おいて行商し「働きもの」と新聞で紹介された

昔から大野の女は働きもの。大正十三年一月一日記事。西浦原郡の大野は一般に町制でも布かれて居るように思われているが、さてその大野は、町制などは布かれて居らぬばかりか、黒埼村の一部字金巻の地籍に属し大野はその又一部分にしか過ぎないのである。然し昔から大野と云えば町づくられ殊に新潟と近いばかりか、水陸の便が有るなど旁商取り引きは勿論、色々に密接の關係がある一面、人事に於いて婿とか嫁とか奉公人とか云うように、たくさんの方が入り込んで

きな粉、そば、麩、大、小豆など、これらは主として女が汽船の便とか、徒歩で新潟へ入り込み重い荷をば物ともせずには歩き回ることが多い。世間では新潟の女は働き者というて驚嘆するといふが、大野の女の「くろうむてん」で働く姿を見せたら一層驚くことだらう。

努力の人であることは疑いのない事実で、従って大野の発展は真実に男女の力が基本となるものである。それ故大野は町づくられて居る店頭は執りも堅実味が溢れていることが充分に認められるのであるが、新潟が築港完成の暁には著しき発展をとぐると共に漸時間屋、青山、平島方面迄勢力が延長されることと共に、大野はますます新潟に接近し長足の向上発展を實現し、将来町制を布く程になることとは至難なことではあるまい。とに角大野は多幸多福前途洋々

たるものがある。大野の昨今は概して不景気であるというものの、それでも他の町々のようにそれ程影響を受けておらぬ、その証拠には貯金なども増加する一方であると伝えられている。唯商人などが懸念しているのは大野は農村に對する売掛金が圓治に吸収されるかどうか、地方農村は小作争議などがある上に不作を伝えられて居るが、米価が昨年比して相当騰貴して居るので取立ては案外好成绩を上げられるであろうと予想されている。※くろうむてんは、一生懸命の意

野の町の人たちは、このように「大野」の名を大切に守り続け町も繁盛してきたが、戦後時代の流れとともに商業経営及び消費者動向が大きく変わり、町の商業は一部業種を除いて衰退の途をたどり始めた。そして昭和四十八年町制が施行された際、町名も大野町民は元より、「女の働く大野」記者氏の期待に添わないで「黒埼町」と決定された。便所付三等客車

大野の女の働は実に男以上の定評がある。かく云えばとて男は全然働かがないように思ふのは大きな誤りで、男も相当に働くのである。要するに大野の人々は

大野の女の働は実に男以上の定評がある。かく云えばとて男は全然働かがないように思ふのは大きな誤りで、男も相当に働くのである。要するに大野の人々は

大野の女の働は実に男以上の定評がある。かく云えばとて男は全然働かがないように思ふのは大きな誤りで、男も相当に働くのである。要するに大野の人々は

大野の女は働き者の記事が載っているが、短い文中には活気溢れる当時の大野の商人のこころや、町の人々のくらしが如実に記されている。大正十三年元旦に、この大野の女は働き者の記事が載っているが、短い文中には活気溢れる当時の大野の商人のこころや、町の人々のくらしが如実に記されている。

大野の女は働き者の記事が載っているが、短い文中には活気溢れる当時の大野の商人のこころや、町の人々のくらしが如実に記されている。

現代では、客車に便所のついているのは当然のことであるが、鉄道が開通して間もないころ、一般用の三等車には便所がついていなかった。これは来る十一月までに便所付客車を完成し、信越北越中央の三線に配置するというもので、当時としては「便利少なからざるべし」といったところだらう。

こうして大野は年々歳々発展を遂げているのである。しかも大野の発展は、新潟を唯一の得意先として正米の如きは中ノ口川筋を中心として、西浦原、中浦原の両郡の一部より集めてそれから新潟へ移送しているの、この取り引き価格は巨額に上がっている。それから、有名な香煎とか

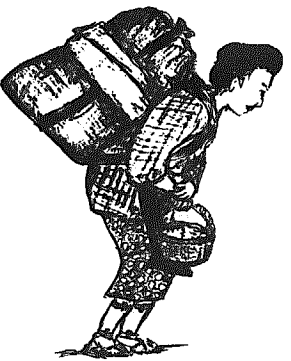
こうして大野は年々歳々発展を遂げているのである。しかも大野の発展は、新潟を唯一の得意先として正米の如きは中ノ口川筋を中心として、西浦原、中浦原の両郡の一部より集めてそれから新潟へ移送しているの、この取り引き価格は巨額に上がっている。それから、有名な香煎とか

こうして大野は年々歳々発展を遂げているのである。しかも大野の発展は、新潟を唯一の得意先として正米の如きは中ノ口川筋を中心として、西浦原、中浦原の両郡の一部より集めてそれから新潟へ移送しているの、この取り引き価格は巨額に上がっている。それから、有名な香煎とか

こうして大野は年々歳々発展を遂げているのである。しかも大野の発展は、新潟を唯一の得意先として正米の如きは中ノ口川筋を中心として、西浦原、中浦原の両郡の一部より集めてそれから新潟へ移送しているの、この取り引き価格は巨額に上がっている。それから、有名な香煎とか

こうして大野は年々歳々発展を遂げているのである。しかも大野の発展は、新潟を唯一の得意先として正米の如きは中ノ口川筋を中心として、西浦原、中浦原の両郡の一部より集めてそれから新潟へ移送しているの、この取り引き価格は巨額に上がっている。それから、有名な香煎とか

こうして大野は年々歳々発展を遂げているのである。しかも大野の発展は、新潟を唯一の得意先として正米の如きは中ノ口川筋を中心として、西浦原、中浦原の両郡の一部より集めてそれから新潟へ移送しているの、この取り引き価格は巨額に上がっている。それから、有名な香煎とか



大野の女たちが大野の女たちを売りに歩く大野の女たち